

令和3年度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 概 要

国内の労働環境は、生産年齢人口（15歳から65歳の人口）の減少から人手不足を招き、雇用の質と量が低下することが懸念されています。

私たちの府中市においても、企業においては人手不足等の対策として機械化の推進や外国人労働者の雇い入れ等を講じておられますが、人手不足の解消までは至っていないといわれています。

また、家庭においても高齢化から、庭の手入れや家事の手助けが必要な状況があり、こうした傾向は続くと予測されます。

私たちの公益社団法人府中市シルバー人材センターは、「志ある人の集まり」であり、会員は公益活動の担い手として、地域社会が求める多様な役務を進んで果たしてまいりました。

令和3年度は、「会員拡大」、「安全就業」、「適正就業」、「シルバーネットワーク事業」等の取組みを推し進めることで、会員の皆様が仕事を通じて「遣り甲斐」や「仲間との親睦」を深め、加えて年金以外からの収入を得ることで、心豊かなシニアライフと地域力の維持・向上に努めてまいりました。

会員拡大につきましては、年度目標の330人に対し年度末で337人となり、前年度末に比較し12名の増加となりました。増加要因は、入会案内等の広告や会員による友人等の紹介に加え、新たな就業機会の提供等による入会です。

シルバーネットワーク事業につきましては、コロナ感染拡大の影響により町内会へ出向いての取組みが困難な中で、事業説明会の開催又は開催準備は2町内会、新たに当事業に対するアンケート調査を行った町内会が2町内会となり、また、一昨年と昨年度を通じてアンケート調査を行った町内会は7町内会となり、来年度より事業展開ができるように準備を進めているところです。

目標と実績は、以下のとおりです。

項 目	令和3年度	
	目 標 値	実 績
会員数（人）	330人	337人
就業率（％）	85％	84.8％
就業延べ人員（千人日）	27.0千人日	28.7千人日
契約金額（百万円）	149.8百万円	156.4百万円

財政運営の状況につきましては、令和3年度の請負・委任業務の契約金額は138,881千円（対前年度比102.6%）で、前年度に比較し3,490千円の増加となりました。派遣事業は、契約金額が17,593千円（対前年度比94.5%）となりました。

2 会員状況

(1) 会員

本年度も会員拡大を重点目標として取り組みました。年度末の在籍会員数は337人（男性199人、女性138人）で、前年度に比べ12人の増加となりました。新規入会者は58人（男性24人、女性34人）、退会者は46人（男性26人、女性20人）になりました。

(2) 就業

会員への就業機会の提供については、特に新規会員に対しては十分な聴き取りを行いワークシェアリング（仕事の分かち合い）に配慮しました。会員の新規就業機会では、コロナウイルスに対するワクチン接種受付に伴う業務の受託（上下事務所）がありました。

年間を通しての就業会員数は337人のうち286人となり、就業率84.8%と前年度を8.5ポイント上回りました。男女別の就業率をみると男性83.9%、女性86.2%と女性の就業率が高くなっており、就業延実人員を職群別でみると草刈・草取などの一般作業群が62.7%と圧倒的に多い状況となっています。剪定業務につきましては、就業する会員の高齢化や新規入会者不足のため班編成に支障をきたし、新たな依頼者からの受注が受付できない状況となっています。

ボランティア活動は2年ぶりに実施し、公共施設の清掃、除草、剪定作業を行い、地域社会の環境美化に寄与し、社会奉仕に努めました。

3 事業実績

(1) 受注

請負・委任分野の受託件数は3,533件で対前年度比99.0%、件数にして36件の減少となりました。これを職群別でみると、除草、清掃、草刈等の「一般作業群」が全体の63.2%、剪定等の「技能群」が19.2%、福祉家事援助、家庭内清掃等の「サービス群」が9.1%となっており、この3職群の合計で総受託件数の91%余りを占めている状況となっています。昨年度と比較してサービス群が26件増加となりましたが、一般作業群は40件減少、技能群は19件減少となりました。また、契約金額を前年度比でみると、事務整理群が3,800千円増加、一般作業群1,419千円増加、折衝外交群が396千円増加となった一

方、管理群では1,256千円減少、技能群645千円減少、サービス群190千円減少となりました。

発注者別の構成比では、公共事業が66,293千円、民間事業が72,588千円で、契約金額に占める公共事業の割合は47.7%、民間が52.3%でした。その差は4.6%となり、3年前（平成30年度）の公共事業と民間事業の差10.8%に比較し6.2%減少しており、全体に占める公共事業のウエイトが年々高まりつつあります。

派遣事業は、受託件数では2件減少、契約金額は対前年比で1,028千円減少となりました。

（2）会員確保の推進

① 入会説明会

入会に関する問い合わせの際に随時実施し、事務所において32回の開催から15人が入会されました。

② 口コミによる会員獲得

会員の紹介による入会は6名となりました。これにより3名の会員がポイント表彰規定により表彰されることとなりました。会員による声掛けは入会につながる場合が多いことから、最も重要な取り組みとして今後も声掛け活動の継続をお願いします。

③ 定期的な会報の発行、新聞折込みおよび新聞への広告掲載

会報「シルバー府中」の発行を2回行い、活動状況・事業内容・会員募集等の広報に取り組みました。また、2～3ヵ月毎に新聞に会員募集の広告を掲載するとともに新聞折込みのチラシにより会員拡大を図りました。

④ 理事・役員による会員拡大

会員拡大強化月間（10月）に、理事・監事及び職員によるチラシ配布活動を行う予定でしたが、コロナ禍のため中止しました。

⑤ 入会促進のため会員募集のチラシを作成し、市役所、公民館、公共職業安定所へチラシを設置していただきました。

（3）就業機会の確保と拡大

府中市産業関係室から2件の「企業とのマッチング」の照会をいただきましたが、残念ながら就業には至りませんでした。しかし、新規就業の窓口として今後も連携を強化してまいります。新規の就業機会としては、新型コロナウイルスのワクチン接種受付業務があり、就業した新規会員は24人でした。

昨年度に引き続きシルバーネットワーク事業（ご近所の家庭内サービス等）の立ち上げを目指して活動する計画でしたが、コロナ禍で町内会との話し合いが

困難であったため事業化することはできませんでした。しかし、新たに当事業に対するアンケート調査に取り組んでいただいた町内会や説明会の準備や実施をしていただいた町内会もあり、来年度事業化に向けて各町内会と連携しながら推進してまいります。

(4) 組織体制の充実

総会・理事会での方針決定に基づき組織の活性化に向けて取り組むこととしていましたが、安全委員会と職群班での事業調整を除いては自主的な活動は実施できませんでした。

今後、更にシルバー事業を充実するためにも、会員と役職員が一体となって連携強化に向けた組織づくりをする必要があり、新たに事務局に主査を置き、会員との対話を通じて円滑な事業運営ができるように致しました。

(5) 普及啓発活動の推進

会報「シルバー府中」を年2回発行し、会員及び関係団体へ事業の取組みについて周知することにより会員の連帯意識を高めるとともに、関係団体の当センター事業に対する認識を高めていただきました。

会員募集や受注案内について、新聞広告5回、チラシ折込み1回により普及啓発を行いました。また、会員募集のチラシを作成し、市役所、公民館および公共職業安定所へ当チラシを設置していただきました。

剪定講習会やボランティア活動について報道機関へ情報提供し、会員の活動を広く市民へ知っていただく取組みを行いました。

(6) 安全適性就業の推進

事故の未然防止に向けて安全集会や安全パトロールを行いました。本年度は傷害事故5件（前年度2件）、物損事故12件（前年度2件）の事故発生となり、前年度に比較し13件増となりました。より一層の就業前のミーティングや作業中の声掛けの徹底から、安全就業の向上に努めてまいります。

安全器具類購入費負担金制度により、延べ28人の会員の方々に安全器具の購入にかかる補助を行い、作業の安全確保に取り組みました。

また、交通安全講習会を2回開催し、延28人の会員が交通法規について受講しました。「安全就業標語」には55点の作品応募があり、安全意識の高揚に努めました。

グループ就業やローテーション就業により公平で適正な就業を目指しました。しかしながら、ローテーション就業につきましては取組みが困難な業務もあるため、会員拡大により就業の公平性が確保できるよう取り組む必要があります。

未就業者に対しては、新規就業の受注があった際に、入会時の職種希望事項を参考にしたマッチングにより就業へつなぐ取組みを行いました。

(7) 派遣事業の推進

昨年度の派遣事業につきましては、コロナ禍による発注事業所の稼働減少に伴い事業を中止したものが1件、会員の都合によるものが1件の計2件減少となりました。派遣事業拡大のため、府中市産業連係室と積極的な情報交換を行い受注拡大に取り組んでまいります。

(8) 研修会・講習会等の実施

技術習得による会員拡大を目的とした剪定講習会（連合主催）が府中市で開催されました。近隣市町から7人の参加があり、府中市からはそのうち2人参加され技能習得後1人が入会されました。また、正月に向けて花の寄せ植えづくりが開催され12人の参加がありましたが、入会には至りませんでした。新たな技術取得はシルバー事業の啓発に効果があり、引き続き開催してまいります。

交通法規を理解し安全に運転業務を遂行するため、交通安全講習会を2回開催しました。

【事業報告の付属明細書】

令和3年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはありませんでした。